

税金とは？あなたはどっち？ 社会の仕組みとともに考えよう







山形市立南小学校教諭 6学年 三宅 慶知

実施年月日：令和5年4月12日～6月7日 27名

1 実践計画・指導のねらい

「税金」のみを取り上げて学習するのではなく、『わたしたちの生活と政治』の単元の中でも、「わたしたちの暮らしを支えるしくみ」「日本国憲法と3つの原則」とも関わらせて学ぶことができるように学習を計画した。自分たちの生活の中から、「日本国憲法の3つの原則」と関わっていると考えられるものを探し、「自分の中の問い」として調べていく中で、「わたしたちの暮らしを支えるしくみ」と「税金」の関係が見えてくるようにしていきたいと考えた。そして、「わたしたちの暮らしを支えるしくみ」と「税金」が結び付くように展開したり、ミニ討論会や討論会を通して、友達のことを聞き、学びを深めたりできるように配慮した。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通じた全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問(○)・こどもたちの反応(●)・使用教材等(□)
1	・日本国憲法の考え方や3つの原則について知り、共有する。	○ <u>日本国憲法にはどのような考え方があろうか</u> ● 憲法は、「いつ」「どうして」できたのだろう。「何のために」あるのだろう。 ● どんなことが記されているのだろう。私たちの暮らしと関係あるのだろうか。 ● 国民に主権があったのは初めて知った。 ● 私たちの生活とどう結びついているのだろう。 □ 教科書「新しい社会」(東京書籍) □NHK for school「社会にドキリ」 □ 国立公文書館デジタルアーカイブ
2 3	・日本国憲法の3つの原則と暮らしのつながりについて考え、疑問に思ったことを調べる。	○ <u>暮らしと憲法にはどのようなつながりがあるのだろう</u> ● 暮らしの中の○と□の原則が関係しているかもしれない。 ● 調べると、「税金」も関係しているようだ。 ● もしかして「税金」は、私たちの暮らしとも関係しているのだろうか。 □ 社会科資料集(青葉出版) □児童用タブレット(調べ学習)
4	・「租税教室」を通して、「税金の使われ方」「税金のしくみ」について学び、暮らしを支える「税金」について理解を深める。   	○ <u>税金は私たちの生活にどのように関係しているのだろう</u> ● 「税金」は、私たちの暮らしに必要なものだと思った。おどろいた。 ● 「税金」がないと困ってしまうことがたくさんあると思った。 □ DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」(租税教室資料)
5	・「消費税の増税」について討論会を行い、「税金」についての考え方を深める。	○ <u>あなたならどちらの主張を選びますか？生活と結び付けて話し合おう</u> ● 税金の使われ方を知り、見直すことも必要だと思う。ものの値段も上がっているの、見直すことも必要だと思う。 ● 困っている人のこと、私たちの意見も取り入れて増税を考えてほしいと思う。 □ 社会科資料集(青葉出版)
6	・学んだことを生かして、税の絵はがきづくりを行い、まとめる。   	○ <u>学んできたことを振り返り、生かしながら絵はがきをつくろう。</u> ● 学んできたことを振り返ると、税金の大切さを伝えたいと考えた。 ● 端的に表現して伝えるにはどうしたらいいのかじっくり考えた。

【指導のポイント】<<1時間目>>

この時間は、資料として、「映像資料」を多く活用した。特に、NHKアーカイブには、古い資料があり、憲法の意義について捉えることができた。

【指導のポイント】<<2・3時間目>>

私たちの生活の中から、3つの原則とのつながりを考えていく中で、暮らしを支えるための「税金」があることが見えてきた。「租税教室」につながっていくように仕組むことができた。

【指導のポイント】<<4時間目>>

子どもたちは、ノートに、構造的にメモをしながら学ぶことができた。「税金」が私たちの暮らしに必要なものだとなり、振り返りから、考え方が変わった児童もいた。

【指導のポイント】<<5時間目>>

「増税」について、自分の立場を明確にし、国語科で学習した討論会の学びを生かして話し合い、税金についての考え方を深めることができた。

【指導のポイント】<<6時間目>>

これまでの学習を振り返りながら、1枚の絵はがきに、自分の言葉で端的に表現しようとしていた。

3 実践の成果(◎)と課題(◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 上記の指導状況には入れていないが、3教時目が終わったあと、租税教室前に「税金」についてのイメージを出し合った。そして、「税金は必要かどうか」という論題で、グループでミニ討論会を行った。租税教室後の5教時目の討論会では、税金の大切さを理解し、暮らしを支えている大切なもの、と考え方に発容が見られた。
- ◎ 暮らしと日本国憲法の関係、生活の中から見つけ、調べていく中で、「税金」が暮らしに関わっていることに気付くことができ、「税金」に焦点を当てて学習を進めることができた。
- ◎ 「子育て支援を実現する政治」の学習でも、「税金」が出てきたが、これまでの学びを生かして考えることができた。
- ◆ これからの税金のあり方を考えたり、選挙との関わりなども取り入れて学習を計画したりすると、より「自分ごと」になり、実践に結び付くと感じた。